

2022年8月29日

令和4年度 VOL.18

《 ふわふわと
輝く花穂 》

見上げる空に秋の兆し パンパスグラスが見頃です

国営ひたち海浜公園では、ぴよんぴよんサークルと常陸野サークル周辺にて、パンパスグラスが見頃となっています。園内では、時折吹くそよ風に花穂が揺れる音が少しずつ秋の訪れを感じさせてくれます。パンパスグラスは季節の移ろいとともに、10月上旬まで見頃が続く見込みです。



撮影/2022年8月29日

◆大人の背丈をはるかに超える存在感

パンパスグラスは、南米(ブラジル・アルゼンチン)原産のイネ科コルタデリア属の多年草。名前は「パンパス(南米の大草原)に生えるグラス(草)」に由来します。和名の「白銀葎(シロガネヨシ)」は、銀白色に輝く花穂から、『お化けススキ』の異名を持ち、草丈は2~3mにもなります。

【パンパスグラス】 ■科名:イネ科コルタデリア属の多年草 ■原産地:南米(ブラジル・アルゼンチン)
■株数:約500株 ■見頃:8月下旬~10月上旬

◆園内各所に植栽

園内では大草原を中心とした周辺3つのスポットに約500株を植栽しています。

◆ぴよんぴよんサークル

園内では一番背丈の高いパンパスグラスが並ぶ場所。サイクリングしながらお楽しみいただけます。

◆大草原北東側

桃色の花穂。パンパスグラスの近くに並んで背比べなどフォトスポットに最適です。

◆常陸野サークル周辺

常陸野サークル周辺では、白色の花穂をご覧ください。



常陸野サークル周辺 (2022年8月29日撮影)

◆ホームインテリアとしても人気

当公園ではパンパスグラスを使ったイベントを開催します。水分が少なく変色し難いパンパスグラスの花穂は、お部屋に飾るとおしゃれなインテリアになり、長い期間美しさが保たれます。

【パンパスグラスのミニリースをつくらう】

■日程:10月15日(土) ■時間:①10:30~②13:30~ ■場所:グリーン工房
■定員:各回12名 ■受付:事前申込 ■参加費:1,200円



ブリザーブド加工をした
パンパスグラスのミニリース

Information

みはらしの丘ではコキアが生育中。
現在は 50~70cm ほどの大きさです。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・星・渡邊
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4